

上北山村拠点施設（旧ふれあいの郷かみきた）リニューアル

# 拠点の愛称

# 村民総選挙のお知らせ！

大台ヶ原・吉野・熊野への拠点に！

アウトドアの拠点に！

全館リニューアル！

サイクリストの拠点に！

平成30年12月15日から平成31年2月3日の期間、村内外より「上北山村拠点施設（旧ふれあいの郷かみきた）」リニューアル拠点の愛称募集を行ったところ、**村内、県内外から計45件のご応募**をいただきました。上北山村のことを考えてご応募いただいた皆様に御礼を申し上げます。

その後、有識者で構成されました審査会で選考し、**3件を優秀賞**として選定させていただきました（裏面参照）。最優秀賞は、**村民の皆様による投票で決定**したいと思います。ぜひご投票のほどよろしくお願いいたします。

投票結果につきましては、上北山村ホームページ等で公表いたします。

## ■ ■ 村民総選挙について ■ ■

投票権は、「**上北山村に住民票を持つ、小学生以上の方※**」

です。投票用紙（往復はがき）は3月15日に発送いたします。ぜひ、あなた自身が良いと思う愛称に1つ〇をして、

**平成31年3月25日（消印有効）まで**

にご投函ください。

上北山村に住民票を持つ、小学生以上の方、  
お一人ずつに、投票用紙（往復はがき）が届きます。

※平成31年3月1日時点

### 拠点の“愛称” 投票表紙

良いと思う愛称に、1つだけ〇をしてください。

#### かみてらす

【審査員講評】  
「てらす」という言葉に、フリースペースにみんなが集える場所というイメージを想起できる。また、呼びやすく、広報の際に様々な展開を期待できる点について評価された。

#### フォレストかみきた

【審査員講評】  
「かみきた」は、母音で終わり響きが良い。その言葉に、村の資源や今後の観光の売りとなる「森」を表わす「フォレスト」の組み合わせが評価された。

#### もり〜と

【審査員講評】  
カジュアルな雰囲気、ロゴも展開しやすい。20〜30代のアウトドアや森にこだわりのある人に訴求できる可能性がある。「森」と「人」という日本語による造語が、海外からの観光客へも訴求出来る可能性について評価された。

※応募者の思いは、チラシをご確認ください。

## ■ ■ 優秀賞について ■ ■

### ○選考経過

平成 31 年 2 月 19 日、上北山村の地域性や拠点の売り、広報への展開性（呼びやすさ、パンフレット等想起できるか、訪日外国人観光客向けへの展開等）の観点から審議を行い選考しました。

<審査員（氏名五十音順）>

- ・加藤 晃規氏（関西学院大学 名誉教授）
- ・川井 徳子氏（ノブレスグループ代表）
- ・舟越 一郎氏（京都市立芸術大学 准教授）
- ・福本 清（上北山村 副村長）

### ○優秀賞

#### かみてらす

[講評]

「てらす」という言葉に、フリースペースにみんなが集える場所というイメージを想起できる。また、呼びやすく、広報の際に様々な展開を期待できる点について評価された。

[応募者の思い]

上北山の「かみ」に、みんなが集まる「テラス」。またみんなを明るく「照らす」施設という思いを込めました。

#### フォレストかみきた

[講評]

「かみきた」は、母音で終わり響きが良い。その言葉に、村の資源や今後の観光の売りとなる「森」を表わす「フォレスト」の組み合わせが評価された。

[応募者の思い] ※

拠点の周りには森があり、森と共に歩んだ地域なので、森を表わす「フォレスト」と、その拠点に集まる人びとの、それぞれの「ステージ」となることからの「ステージ」を組合せ、「かみきた」をつなげました。

#### もり〜と

[講評]

カジュアルな雰囲気、ロゴも展開しやすい。20〜30 代のアウトドアや森にこだわりのある人に訴求できる可能性がある。「森」と「人」という日本語による造語が、海外からの観光客へも訴求出来る可能性について評価された。

[応募者の思い]

森と人が出会い、ふれあう拠点となる施設をイメージし、森+人で「もり〜と」とした

※応募作品は「フォレストステージかみきた」でしたが、他名称でフォレストステージという言葉が使われていることから応募者ご了承のもと、「フォレストかみきた」としました。